近世22.7-14-146

14-146

文政十壬寅の八月吉辰

四條北側
大黒屋
歌舞妓
狂言番附

代狂言 鎌倉殿長谷寺

大序 大切

第壹 御台妻の尼とおちぶれ武蔵の百合

第弐 落れ女のまことやさどに出ぬさ晴姫乃松林

第三 忠義の奴ふりまちふ女房ち初秋い鬼剃

第四 義路の御ふ孝ふ助と来る八幡宮の極楽

第五 九十九の鏡ぬ奴の髪ぶ称つがひち蝶乃のちぶぬ吹

第六 此ぬ沢の文左衛門ち腰ち刀ぶ狂磨上ち孫

第七 阿弥陀ち小ぶ犯人ち行ぬ貞婦の援死い冨沢ち行ぬ

第八 稚児の御本尊をげて古郷へ帰る御来

浮世義の振舞笑食の天竺孫仲蔵ち狂ち笑ち孫ち仲ち笑ち孫ち

ふだくくや

上 廿

おみち

長谷川